

(技術科)

1 ものづくり日本を支えている技術を知ろう。

技術・家庭科の目標は自分の生活をより良くすることができるようになることです。そのためには自分の生活を振り返り、問題を見つけたり学習したことを生かして、自分の生活に役立てていく力をつけることが大事な学習です。技能を伸ばすことも大切ですが、いろいろな知識もしっかりと学んでいこう。

日本人のものづくりにおける多くの工夫と緻密さは、世界各国から注目されています。生活を豊かにする技術について、将来の仕事などに関連させて関心を持とう。



2 体験したことを生活の場面で生かそう。

- ① 授業で学んだことを生活で実践しよう。
- ② 自分の生活上の問題を考え、解決の方法を考えよう。



材料と加工に関する技術

工具について知り、さまざまな加工体験を生かす。
(生活に不便さを感じる場所など、自分で材料を調達して、ものづくりをしてみよう。)

エネルギー変換に関する技術

エネルギー資源や物の動くしくみに興味を持とう。
(電気エネルギー中心の生活で、省エネに生かせたり、生活を便利にしている製品について関心を持とう。)

生物育成に関する技術

学んだことを生かし、家庭でも栽培をしてみよう。
(家庭の食卓で食べられるものや容器栽培で、栽培可能なものを考えて家庭で実践しよう。)

情報に関する技術

コンピュータを活用し、できることを増やそう。
(いろいろなソフトウェアを使ったりコンピュータに慣れよう。ウィルスやその他不正アクセスなど、情報モラルを意識して使っていこう。)

3 テスト勉強

授業で習得した技能に加えて、教科書やノートをよく読んで復習しよう。



(家庭科)

1 健康で自分らしく生きるために

毎日の生活のなかで、自分らしく生きるために、生活を見つめ直しましょう。その中から課題を見つけ、解決するための工夫をしましょう。学校で学習した内容（知識や技能）は生活の中で見つけた課題を解決するために役立ちます。それらを身につけることで自分の生活を快適にしていくことができ、生活を楽しむことにつながります。



2 授業で学習したことを復習する

【授業で習ったことを生活で実践しながら復習してください。】

例を挙げておきますので、自分の興味関心のあるところから実践してみましょう。



食生活

栄養のバランスを見なおし、自ら調理をする。

(朝食をしっかり食べる。地域の食材を知り、積極的に利用する。)

衣生活

洗濯を手伝う。衣類の補修をする。

(ボタン付けやすそ直し、アイロンがけなどを行う。)



住生活

快適で安全な住み方を工夫する。掃除を手伝う。

(掃除・騒音対策・採光やバリアフリーを考える。)

消費生活

いろいろな販売方法や支払い方法に注目し、自らが消費者であることを知る。(こづかい帳をつけ、自分のお金の出入りを考える。)

家族と地域

自分が育ってきた環境を知り、お世話になっている人に感謝する。

(地域の清掃活動や行事にも積極的に参加する。)

3 テスト勉強

授業で学習したところの教科書を見なおしながら、家庭科ノートをまとめ、覚えましょう。また、実習した内容についても、プリントなどを参考に見なおしておきましょう。